

殿さま弥次喜多 捕物道中 (1959)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 コメディ ミュージカル

製作国 日本

色彩 Color

時間 84分

初公開日 1959/01/03

【解説】

中村錦之助と賀津雄の兄弟が共演した異色時代劇で「殿さま弥次喜多 怪談道中」に続くシリーズ二作目。「ひばり捕物帖・自雷也小判」の笠原和夫と「若さま侍捕物帖 紅鶴屋敷」の鷹沢和善（沢島忠のペンネーム）のオリジナル脚本をもとに沢島が監督した。

尾張藩主の徳川宗長と紀州藩主の徳川義直は兄弟であり、以前の二人旅が忘れられずにいた。ちょうど宗長と鶴姫との見合い話があり、妹である鶴姫に変装した義直は城に潜り込み、宗長と二人で城を脱出、尾張の宮から船に乗り込んだ。船上で義直が殺人を目撃したことから、二人は探偵のまねごとをして犯人捜しを始めるのだったが、そこへ現れた岡っ引の法華の大八から観音小僧なる悪党と間違えられ、船で知り合った姉御肌のおれんとともに船を下りてしまった。

【クレジット】

監督 沢島忠

企画 辻野公晴

小川貴也

脚本 笠原和夫

鷹沢和善

撮影 坪井誠

美術 井川徳道

音楽 鈴木静一

出演 中村錦之助

中村賀津雄

中原ひとみ

桜町弘子

丘さとみ